

問1 深刻な公害問題を乗り越え、現在は環境技術や資源循環を活かした街づくりに取り組む都市を何という？

1. コンパクトシティ 2. エコタウン 3. 環境モデル都市 4. グリーン都市

問2 1985年に先進5か国がドル安・円高へ誘導することに合意した出来事を何という？

1. プレトンウッズ協定 2. スミソニアン協定 3. プラザ合意 4. ルーブル合意

問3 関東地方から九州にかけて、日本の製造業が集中している沿岸地域を何という？

1. 中央高地 2. 日本海側 3. 九州北部 4. 太平洋側

問4 太平洋ベルトを中心に発展し、日本の主要な輸出製品を製造している産業分野を何という？

1. 自動車工業 2. 石油化学工業 3. 機械工業 4. 製鉄業

問5 愛知県を中心に広がり、自動車の生産額が日本で最も多い工業地帯を何という？

1. 鉄鋼業 2. 自動車工業 3. 機械工業 4. 石油化学工業

問6 大都市の消費者に新鮮な野菜を届けるため、都市の近隣で行われる農業を何という？

1. 近郊農業 2. 促成栽培 3. 企業的農業 4. 抑制栽培

問7 自然の海や川で魚を捕るのではなく、人の手で育ててから収穫する手法を何という？

1. 遠洋漁業 2. 栽培漁業 3. 沖合漁業 4. 養殖業

問8 漁獲量を安定させるため、海産資源を管理しながら積極的に増やす仕組みを何という？

1. 遠洋漁業 2. 沿岸漁業 3. 資源管理型漁業 4. 沖合漁業

問9 冬の寒さを防ぎ、気温をコントロールして促成栽培を行うために積極的に利用される設備を何という？

1. コンバイン 2. トラクター 3. ビニールハウス 4. スプリンクラー

問10 河川の勾配や水量を利用し、ダムなどで水をためてタービンを回す発電方法を何という？

1. 風力発電 2. 地熱発電 3. 水力発電 4. 太陽光発電

問11 日本の栽培漁業において、沿岸部で盛んに増殖が行われている代表的な高級魚を何という？

1. ホタテガイ 2. ブリ 3. サケ 4. マダイ

問12 特定の企業や工場を中心に、関連企業が集中して町全体が成り立っているような形態を何という？

1. 門前町 2. 港湾都市 3. 学園都市 4. 企業城下町

問13 温暖な気候を利用して、通常よりも早く野菜を収穫する栽培方法に最も適している地域はどこ？

1. 太平洋側 2. 中央高地 3. 瀬戸内側 4. 日本海側

問14 火山の地下にあるマグマの熱を利用して発電する方法を何という？

1. 風力発電 2. 地熱発電 3. 太陽光発電 4. バイオマス発電

問15 日本企業が海外の工場建設や現地法人設立のために資金を投入することを何という？

1. 間接投資 2. 公的融資 3. 証券投資 4. 直接投資

問16 旬の時期以外にも出荷量を安定させるため、ガラスやビニールハウスなどを使って栽培することを何という？

1. 施設園芸農業 2. 酪農 3. 畑作 4. 稲作

答え合わせ・解説

問1	答え 3 環境モデル都市	環境モデル都市とは、低炭素社会を目指して画期的な取り組みを行う都市です。北九州市は、その経験を活かしてリサイクル技術や廃棄物発電などを推進し、世界的な環境都市として再生しました。
問2	答え 3 プラザ合意	1985年、アメリカのプラザホテルで開かれたG5において、「プラザ合意」が成立しました。これにより各国は協調してドル安・円高を促すこととなり、結果として急激な円高が進行しました。
問3	答え 4 太平洋側	太平洋ベルトと呼ばれるこの地域には、京浜や阪神などの主要な工業地帯が並んでいます。気候が温暖で人口も多く、巨大な消費地と生産地が近接しているため、工業の発展には非常に有利な条件が揃っていました。
問4	答え 1 自動車工業	自動車工業は、鉄鋼、機械、電気など数多くの関連産業から成り立つ「すそ野の広い産業」です。多くの部品を港に近い工場で組み立て、完成車として世界へ輸出する体制が整っています。
問5	答え 2 自動車工業	中京工業地帯は自動車工業の生産額で日本一を誇ります。完成車メーカーだけでなく、数多くの下請け企業や部品メーカーが周囲に集積し、効率的な生産システムが確立されています。
問6	答え 1 近郊農業	近郊農業は、大都市に近い平野部で行われます。消費地に近いため、収穫したその日に店に並べることが可能であり、鮮度が求められるほうれん草や小松菜などの生産が盛んです。
問7	答え 4 養殖業	養殖業は、海や川に生け簀（いけす）などを設置し、餌を与えて魚介類を育てます。天然の資源量に左右されず、時期を調整して出荷できるため、経済的に非常に重要な産業となっています。
問8	答え 3 資源管理型漁業	資源管理型漁業は、漁獲量に制限を設けたり、稚魚を放流したりして、資源を枯渇させないように管理する手法です。特に栽培漁業と密接に関連しており、自然の海を上手に活用する技術が重要視されています。
問9	答え 3 ビニールハウス	ビニールハウスは、骨組みにビニールやプラスチックのシートを張り、内部の温度や湿度を管理する施設です。太陽光を透過させて内部を暖め、外気の影響を抑えることで、野菜の成長を早めることができます。
問10	答え 3 水力発電	「水力発電」は、ダムや落差を利用して水の勢いでタービンを回します。二酸化炭素を排出せず、需要に応じて即座に出力を調整できるため、電力の安定供給において重要な役割を果たしています。古くからあるエネルギー源ですが、技術の進化によりさらなる効率化が進んでいます。
問11	答え 4 マダイ	マダイは、孵化場で卵から稚魚まで育て、ある程度の大きさになったところで海に放流します。放流された稚魚は自然の海で成長し、一定の大きさになったところで再び漁獲されます。
問12	答え 4 企業城下町	企業城下町とは、ある大企業の工場が町の経済や雇用を支える中心となっている都市を指します。雇用が安定し、地域経済がその企業に依存する一方で、インフラ整備などが進むという特徴があります。
問13	答え 1 太平洋側	促成栽培とは、気温の高い地域や施設を利用して、野菜の収穫時期を通常より早める技術です。冬に収穫できることで市場価格が高くなりやすい時期に出荷できるため、農家の収益向上にもつながります。
問14	答え 2 地熱発電	「地熱発電」は、地下から取り出した蒸気でタービンを回転させて電気を作ります。天候や昼夜に左右されず、安定した発電が可能なベースロード電源として注目されています。東北や九州地方を中心に、国立公園内などの地熱資源が豊富な場所で主に導入されています。
問15	答え 4 直接投資	「直接投資」とは、単なる証券投資とは異なり、海外で現地生産のための拠点を設けるような経済活動を指します。これにより、現地での雇用創出や技術移転が行われる一方、国内での生産活動が減少するという側面も持ち合わせています。
問16	答え 1 施設園芸農業	施設園芸農業は、ビニールハウスやガラス室の中で温度・湿度・日照時間を調整して栽培します。これにより、露地栽培では難しい時期の出荷が可能になり、市場価格が安定しやすくなります。